

# IAP-92 および IAP-93 ワイヤレスアクセスポイント

## 設置ガイド

### Aruba IAP-92/IAP-93 について

Aruba IAP-92 および IAP-93 は、高パフォーマンス WLAN 用の IEEE 802.11n 標準をサポートする単一无線のデュアルバンドワイヤレスアクセスポイントです。これらのアクセスポイントは、高パフォーマンスを実現する MIMO (Multiple Input, Multiple Output) テクノロジーおよびその他の高スループットモードテクノロジー、802.11n の 2.4 GHz または 5 GHz 機能を使用すると同時に、既存の 802.11a/b/g ワイヤレスサービスをサポートします。

Aruba IAP-92/IAP-93 アクセスポイントは、以下の機能を提供します。

- ワイヤレストランシーバ
- プロトコルに依存しないネットワーク機能
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレスアクセスポイント)
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレス空気モニター)
- IEEE 802.3af PoE との互換性

### パッケージの内容

- IAP-92 または IAP-93 アクセスポイント
- 設置ガイド
- Aruba Instant クイックスタートガイド
- プロフェッショナル設置ガイド (IAP-92 のみ)

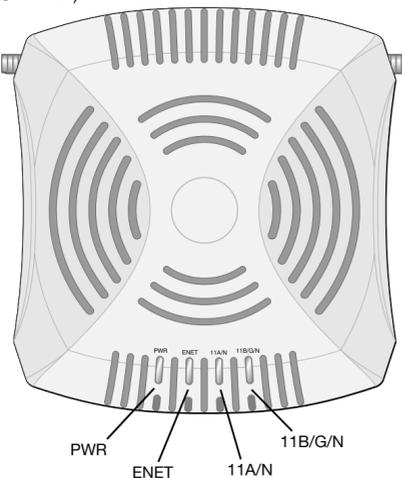
内容が違っている場合、不足している場合、または破損している場合は、サプライヤに連絡してください。必要な場合は、元の梱包資材および箱を使用して (可能な場合) パッケージを梱包し、サプライヤに返送してください。

図 1 IAP-92/IAP-93 (図は IAP-92)



### IAP-92/IAP-93 ハードウェアの概要

図 2 前面 (図は IAP-92)

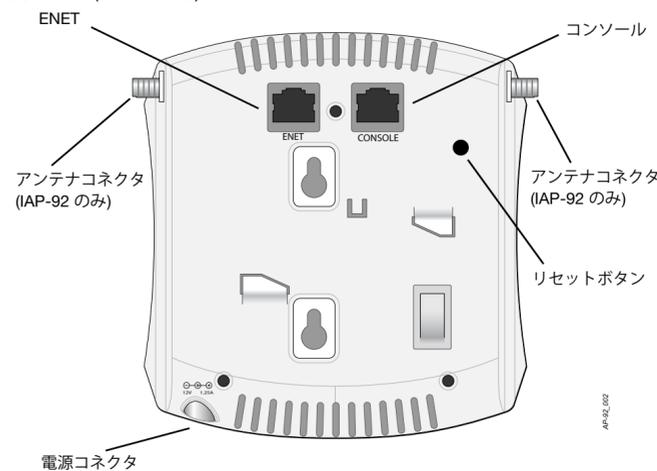


### LED

- PWR: IAP-92/IAP-93 に電源が投入されているかどうかを示します。
- ENET: IAP-92/IAP-93 のイーサネットポートのステータスを示します。
- 11A/N: 802.11a/n 無線のステータスを示します。
- 11B/G/N: 802.11b/g/n 無線のステータスを示します

IAP-92/IAP-93 の LED の動作の詳細については、表 1 を参照してください。

図 3 背面 (図は IAP-92)



### コンソールポート

コンソールポートを使用してターミナルに接続し、ローカル管理を直接実行します。

### イーサネットポート

IAP-92/IAP-93 には、10/100/1000Base-T (RJ-45) 自動検出 MDI/MDX 有線ネットワーク接続ポートが 1 つ装備されています。このポートは、IEEE 802.3af Power over Ethernet (PoE) 準拠をサポートし、PoE Midspan インジェクタなどの給電装置 (PSE) または PoE をサポートするネットワークインターフェイスからの DC 48V を標準の定義済み Powered Device (PD) として受け入れます。

### DC 電源ソケット

PoE が使用できない場合、オプションの Aruba IAP AC-DC アダプタキット (別売) を使用して IAP-92/IAP-93 に給電できます。

### リセットボタン

リセットボタンを使用すると、IAP を出荷時の設定に戻すことができます。IAP をキャンバス AP に変換した場合、リセットボタンを押すと IAP に戻ります。IAP をリセットするには、次の操作を行います。

1. IAP の電源をオフにします。
2. クリップの先などの細くともったものでリセットボタンを押したままにします。
3. リセットボタンを押したまま IAP の電源をオンにします。5 秒以内に電源 LED が点滅します。
4. リセットボタンを放します。

リセットが完了すると、15 秒以内に電源 LED ボタンが再度点滅します。その後 IAP が再起動して、出荷時の設定に戻ります。

### 外付けアンテナコネクタ

IAP-92 は、外付けアンテナを取り付けて使用するよう設計されています。IAP-93 には内蔵アンテナが搭載されています。

### 始める前に

**FCC の声明:** 米国内に設置されたアクセスポイントを、米国以外の規制ドメインに適合するように不適切に終端処理すると、機器承認に関する FCC 規制に違反することになります。そのような意図的な違反を行った場合、運用の中断が FCC によって要求され、罰金が適用されることがあります (47 CFR 1.80)。

**EU の声明:** 2.4 GHz および 5 GHz 帯域幅で運用する低電力無線 LAN 製品。制限の詳細については、『Aruba Instant ユーザーガイド』を参照してください。

Produit réseau local radio basse puissance operant dans la bande fréquence 2.4 GHz et 5 GHz. Merci de vous référer au Aruba Instant User Guide pour les détails des restrictions.

Low Power FunkLAN Produkt, das im 2.4 GHz und im 5 GHz Band arbeitet. Weitere Informationen bezüglich Einschränkungen finden Sie im Aruba Instant User Guide.

Apparati Radio LAN a bassa Potenza, operanti a 2.4 GHz e 5 GHz. Fare riferimento alla Aruba Instant User Guide per avere informazioni dettagliate sulle restrizioni.

### IAP 設置前のチェックリスト

IAP-92/IAP-93 アクセスポイントを設置する前に、以下のコンポーネントが揃っていることを確認してください。

- 必要な長さの CAT5 UTP ケーブル
- 以下のいずれかの電源装置
  - IEEE 802.3af 対応の Power over Ethernet (PoE)
  - Aruba AP AC-DC アダプタキット (別売)

### セットアッププロセスのまとめ

IAP-92/IAP-93 シリーズ AP を設置する前に、「IAP 設置前のチェックリスト」に記載されているアイテムを確認することが重要です。

IAP-92/IAP-93 アクセスポイントを正常にセットアップするには、4 つのタスクを完了する必要があります。これらのタスクは、次の順序で実行する必要があります。

1. 各 IAP の設置場所を特定します。
2. 各 IAP を設置します。
3. 設置後の接続を確認します。
4. 仮想コントローラを設定します。『Aruba Instant クイックスタートガイド』を参照してください。

Aruba Networks, Inc. は、政府の要求に基づき、権限のあるネットワーク管理者だけが設定を変更できるように IAP-92/IAP-93 アクセスポイントを設計しています。IAP の設定の詳細については、『Aruba Instant クイックスタートガイド』および『Aruba Instant ユーザーガイド』を参照してください。

アクセスポイントは無線伝送デバイスで、政府規制の対象となります。ネットワーク管理者は設定の責任を負い、アクセスポイントの運用は無線法の規制に準拠する必要があります。特に、アクセスポイントは、その使用場所に適したチャンネル割り当てを使用する必要があります。

### 設置場所の特定

IAP-92/IAP-93 アクセスポイントは、壁または天井に取り付けることができます。各設置場所は目的の対象領域の中心に可能な限り近く、障害物や明白な干渉源のない場所である必要があります。これらの RF 吸収材/反射材/干渉源は RF プロパゲーションに影響するので、計画フェーズで考慮に入れ、VisualRF で調整する必要があります。

### 識別されていない既知の RF 吸収剤/反射材/干渉源

設置フェーズにおいて現場で既知の RF 吸収材、反射材、および干渉源を識別することが重要です。IAP を設置場所に固定する際は、これらの要因を考慮に入れてください。

RF 吸収材には、以下のようなものがあります。

- セメント/コンクリート: 乾燥する古いコンクリートの場合、RF プロパゲーションが発生する可能性があります。新しいコンクリートは保湿性が高いので RF 信号がブロックされます。
- 自然物: 水槽、噴水、池、および樹木
- 煉瓦

RF 反射材には、以下のようなものがあります。

- 鉄製のオブジェクト: フロア間に設置された金属、鉄筋、防火扉、クーラーのダクト、メッシュ窓、ブラインド、金網タイプのフェンス (間口サイズにより異なります)、冷蔵庫、ラック、棚、およびファイルキャビネット
- IAP を 2 つの空調機ダクトの間に設置しないでください。RF 吸収を回避するために、AP はダクトの下に設置してください。

RF 干渉源には、以下のようなものがあります。

- 電子レンジおよび 2.4 または 5 GHz 以外のオブジェクト (コードレス電話など)
- コールセンターやランチルームで使用されるコードレスヘッドセット

### IAP の設置

Aruba Networks 製品の設置およびサービスは、専門の取り付けスタッフが実施する必要があります。専門の取り付けスタッフ向けの追加のアンテナおよび伝送電源情報については、<https://support.arubanetworks.com> を参照してください。

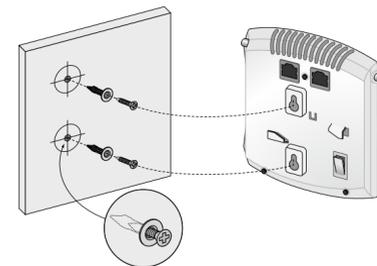
IAP-92 を設置する場合、IAP を取り付け前にアンテナを接続してください。

### 一体型壁掛けスロットの使用

IAP の背面にある鍵穴型のスロットを使用して、デバイスを室内壁または棚に垂直に取り付けることができます。設置位置を選択する際は、ユニットの右側にケーブルを敷設するためのスペースがあることを確認してください。

1. ポートはデバイスの背面にあるので、取り付け面に事前に穴を開けるなど、IAP のイーサネットポートへのアクセスを確認してください。
2. 設置場所の壁または棚に 4.7cm の間隔で 2 本のネジを取り付けます。デバイスを乾式壁に取り付ける場合、Aruba は壁用の適切なアンカー (別売) を使用することをお勧めします。
3. IAP の背面の取り付けスロットをネジに合わせて、ユニットを取り付けます (図 4 を参照)。

図 4 壁面への IAP-92/IAP-93 アクセスポイントの設置



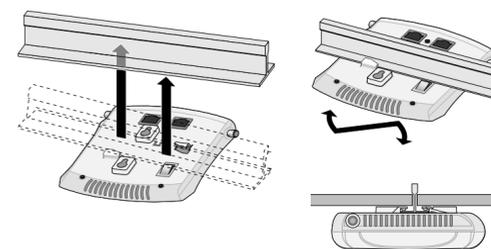
### 一体型天井タイルレールスロットの使用

IAP の背面にあるスナップイン式のタイルレールスロットを使用して、15/16" 幅の標準の天井タイルレールにデバイスを直接取り付けることができます。

デバイスを天井に取り付ける際は、IAP が天井タイルレールに確実に固定されることを確認してください。設置が不適切な場合、デバイスが落下する危険があります。

1. IAP の設置場所の近くに穴を開けて必要なケーブルを敷設します。
2. 必要に応じて、コンソールケーブルを IAP 背面のコンソールポートに接続します。
3. 天井タイルレールに対して約 30 度の角度で IAP の天井タイルレール取り付けスロットを合わせます (図 5 を参照)。ケーブルは天井タイルの上でたるませます。

図 5 天井タイルレール取り付けスロットの向き



4. 天井タイルに向かって IAP を時計回りに回転させ、デバイスを天井タイルレールに固定します。

### 必要なケーブルの接続

該当する規制および慣習に従ってケーブルを設置します。

### イーサネットポート

RJ45 イーサネットポート (ENET) は、10/100/1000Base-T 自動検出 MDI/MDX 接続をサポートします。これらのポートを使用して、IAP をツイストペアイーサネット LAN セグメントに接続します。最長 100 m の 4 線または 8 線のカテゴリ 5 UTP ケーブルを使用してください。

10/100/1000 Mbps イーサネットポートは IAP の背面にあります。ポートには、下の図に示す RJ-45 メスコネクタがあります。

図 6 Gigabit イーサネットポートピン出力

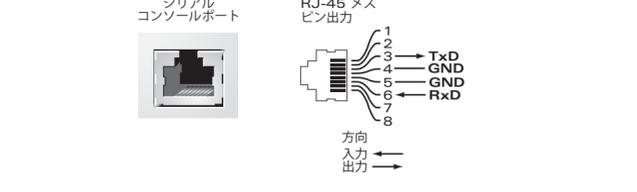
1000Base-T Gigabit イーサネットポート	RJ-45 メスピン出力	信号名	機能
	1	BI_DA+	双方向性ペア +A
	2	BI_DA-	双方向性ペア -A
	3	BI_DB+	双方向性ペア +B
	4	BI_DC+	双方向性ペア +C
	5	BI_DC-	双方向性ペア -C
	6	BI_DB-	双方向性ペア -B
	7	BI_DD+	双方向性ペア +D
	8	BI_DD-	双方向性ペア -D

## シリアルコンソールポート

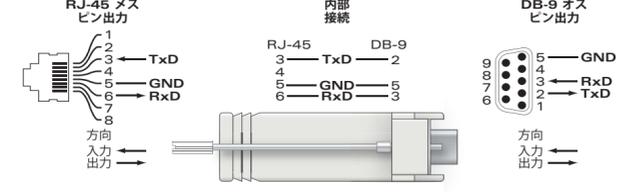
シリアルコンソールポート (コンソール) を使用すると、IAP をシリアルターミナルまたはラップトップに接続して、直接ローカル接続を行うことができます。このポートは、図 7 に示すピン出力のある RJ-45 メスコネクタです。イーサネットケーブルを使用して、このポートをターミナルまたはターミナルサーバーに直接接続します。

IAP の RJ-45 (メス) コネクタを DB-9 (オス) コネクタに変換するモジュラコネクタを使用して、RS-232 ケーブルでアダプタをラップトップに接続します。アダプタのコネクタの詳細については、図 8 を参照してください。

### 図 7 シリアルポートピン出力



### 図 8 RJ-45 (メス) から DB-9 (オス) へのモジュラアダプタ変換



## 電源接続

IAP-92/IAP-93 には、AC-DC 電源アダプタによる給電を行うための 12V DC 電源ソケットがあります。

	POE と DC 電源が両方とも使用可能な場合、POE 電圧が IAP の給電に十分でない場合でも IAP では POE が使用されます。
--	---

## 設置後の接続の確認

IAP に組み込まれた LED を使用して、IAP に給電が行われていること、および初期化が正常に行われていることを確認できます (表 1 を参照)。設置後のネットワーク接続の確認の詳細については、『Aruba Instant クイックスタートガイド』を参照してください。

### 表 1 IAP-92/IAP-93 シリーズの LED の意味

LED	色/状態	意味
PWR	オフ	IAP に電源が投入されていない
	緑の点滅	システム初期化中
	赤の点灯	システム初期化失敗。TAC に連絡してください
	緑の点灯	給電中、デバイス使用可能
ENET (100/1000 Mbps)	消灯	リンクなし
	緑の点灯	1000 Mbps リンク
	黄色の点灯	10/100 Mbps リンク
11A/N	消灯	5 GHz 無線は無効
	黄色	5 GHz 無線が WLAN モードで有効
	緑	11 GHz 無線が 11n モードで有効
	緑の点滅	5 GHz 空気モニターまたは RF 保護モード
11B/G/N	消灯	2.4 GHz 無線は無効
	黄色	2.4 GHz 無線が WLAN モードで有効
	緑	2.4 GHz 無線 が 11n モードで有効
	緑の点滅	2.4 GHz 空気モニターまたは RF 保護モード

## 製品仕様

## 電子部

- イーサネット:
  - 1 つの 10/100/1000Base-T 自動検出イーサネット RJ-45 インターフェイス
  - MDI/MDX
  - IEEE 802.3 (10Base-T)、IEEE 802.3u (100Base-T)。IEEE 802.3ab (1000Base-T)
  - Power over Ethernet (IEEE 802.3af 準拠)、48V DC/350 mA (ピン構成は 図 6 を参照)

- 電源: 12 V の DC 電源インターフェイス (AC-DC 電気アダプタによる給電をサポート)

	米国またはカナダで Aruba Networks から提供されているもの以外の電源アダプタを使用する場合は、cULus (NRTL) 規格に準拠した出力 12 V DC、最小 1.25A で、“LPS” または “Class 2” とマークされ、米国およびカナダの標準の電源コンセントに適したアダプタを使用してください。
---	--

この製品のその他の仕様については、データシートを参照してください。データシートは www.arubanetworks.com で入手できます。

## Aruba 製機器の適切な廃棄

Global Environmental Compliance および Aruba 製品に関する最新情報については、www.arubanetworks.com を参照してください。

### 電気設備および電子機器の廃棄



EU 加盟国、ノルウェー、およびスイスで Aruba 製品を廃棄する場合、左側に示すマークを貼りし、個別に回収および処理を行う必要があります。これらの国で対象製品の処理を行う場合は、WEEE (Waste of Electrical and Electronic Equipment) 2002/96EC 指令が導入されている国の該当する国際法に準拠する必要があります。

### 欧州連合 RoHS

Aruba 製品は、EU Restriction of Hazardous Substances Directive 2002/95/EC (RoHS) にも準拠しています。EU RoHS は、電気機器および電子機器の製造における特定の危険物質の使用を制限する指令です。特に、RoHS 指令で制限されている物質は、鉛 (印刷基板アセンブリで使用されるはんだを含む)、カドミウム、水銀、六価クロム、およびプロムです。一部の Aruba 製品は、RoHS 指令の付録 7 に記載されている例外の対象です (印刷基板アセンブリで使用するはんだの鉛)。左側に示す “RoHS” のラベルが添付された製品およびパッケージは、この指令に準拠していることを示します。

### 中国における RoHS

Aruba 製品は、中国における環境宣言機器にも準拠しており、左側に示す “EFUP 10” ラベルが貼付されています。

	<b>有毒有害物质声明</b> <b>Hazardous Materials Declaration</b>																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">部品名称 (Parts)</th> <th colspan="6">有毒有害物质或元素 (Hazardous Substance)</th> </tr> <tr> <th>鉛 (Pb)</th> <th>汞 (Hg)</th> <th>镉 (Cd)</th> <th>六价铬 (Cr<sup>6+</sup>)</th> <th>多溴联苯 (PBB)</th> <th>多溴二苯醚 (PBDE)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>电路板 (PCB Boards)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>机械组件 (Mechanical Sub-Assemblies)</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>○: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。 Indicates that the concentration of the hazardous substance in all homogeneous materials in the parts is below the relevant threshold of the SJ/T11363-2006 standard.</p> <p>×: 表示该有毒有害物质至少在在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。 Indicates that the concentration of the hazardous substance of at least one of all homogeneous materials in the parts is above the relevant threshold of the SJ/T11363-2006 standard.</p> <p>对销售之目的所售产品, 本表显示, 供应链的电子产品信息可能包含这些物质。 <b>This table shows where these substances may be found in the supply chain of electronic information products, as of the date of sale of the enclosed product.</b></p> <p>此标志为针对所涉及产品的环保使用期标志。某些零部件会有一个不同的环保使用期 (例如, 电池单元模块) 贴在其产品上。 此环保使用期限只适用于产品是在产品手册中所规定的条件下工作。 The Environment-Friendly Use Period (EFUP) for all enclosed products and their parts are per the symbol shown here. The Environment-Friendly Use Period is valid only when the product is operated under the conditions defined in the product manual.</p>	部品名称 (Parts)	有毒有害物质或元素 (Hazardous Substance)						鉛 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr <sup>6+</sup> )	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)	电路板 (PCB Boards)	×	○	○	○	○	○	机械组件 (Mechanical Sub-Assemblies)	×	○	○	○	○	○	
部品名称 (Parts)	有毒有害物质或元素 (Hazardous Substance)																												
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr <sup>6+</sup> )	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)																							
电路板 (PCB Boards)	×	○	○	○	○	○																							
机械组件 (Mechanical Sub-Assemblies)	×	○	○	○	○	○																							

## 安全性および規制準拠

Aruba Networks は、国固有の規制および追加の安全性と規制情報を含む多言語ドキュメントをすべての Aruba アクセスポイントで提供しています。このドキュメントは、次のサイトでの参照またはダウンロードが可能です: www.arubanetworks.com/safety\_addendum

デバイスには電子標識が付けられており、FCC ID がコントローラ WebUI の「**About**」メニューに表示されます。

	<b>注意</b>
	Aruba アクセスポイントは専門の取り付けスタッフが設置する必要があります。専門の取り付けスタッフは、該当する電気工事規定を満たすアースが使用可能であることを確認する必要があります。

	<b>RF 放射に関する声明:</b> 本製品は、FCC RF 放射制限に準拠しています。本製品を 2.4 GHz および 5 GHz で運用する場合、放射体とユーザーの身体との距離は 20 cm (7.87 インチ) 以上にしてください。このトランスミッタは、その他のアンテナまたはトランスミッタと一緒に設置または運用しないでください。5.15 ~ 5.25 GHz の周波数で運用する場合、このデバイスは室内での使用に制限されます。
---	--

## EMC 準拠情報および警告文書

- IEC 60601-1-2: 2007
- EN 60601-1-2: 2007

この機器は、医療機器の規格 IEC 60601-1-2:2007 に関する試験により、制限を満たしていることが確認されています。また、このユニットは EN 60601-1-2:2007 の要件を満たしており、欧州連合の医療機器指令 2007/47/EC に準拠するものとみなされます。これらの制限は、典型的な医療施設への設置における有害な干渉からの保護を提供するために設定されています。この機器は、無線周波数エネルギーを生成および使用し、および無線周波数エネルギーを放射する可能性があります。製造元の指示に従って設置および使用しない場合、付近の他のデバイスに対して有害な干渉が発生することがあります。しかし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。この機器によって他のデバイスに対する有害な干渉が発生した場合 (機器の電源投入および切断によって確認できます)、ユーザーは以下の手段を使用して干渉を修正することが推奨されます。

- 干渉を受けているデバイスの向きを変える、または設置場所を変更する。
- 機器どうしの距離を離す。
- 他のデバイスが接続されている電源コンセントとは別のコンセントに機器を接続する。
- 製造元または現場サービス技術者に相談して指示を受ける。

モデル IAP-92 および IAP-93 には IEC 60601-1 で規定される「装着部」はありません。電気ショックに対する保護はクラス II です。

デバイスは液体の浸入に対して保護されていません。保護クラスは IEC 60601-1 および IEC 60529 で規定される IPX0 です。機器は、引火性混合物が存在する場所での使用には適していません。

このユニットは、IEC 60601-1 で規定される「継続的運用」機器に該当します。

消費電力 – 48 VDC (802.3af Power over Ethernet) または 12 VDC、1.25 A (外部供給 AC 電源、アダプタ別売)。最大消費電力 – 10 W。

外形寸法および重量: 120 mm x 130 mm x 55 mm、255 g

環境条件: 運用時の温度: 0° C ~ +50° C (+32° F ~ +122° F)、湿度: 5 ~ 95% (結露なし)。保管時の温度: -40° C ~ +70° C (-40° F ~ +158° F)

# IAP-92 および IAP-93 ワイヤレスアクセスポイント 設置ガイド

	
<b>Aruba Networks への連絡</b>	
<b>表 1</b>	
Web サイトサポート	
メインサイト	<a href="http://www.arubanetworks.com">http://www.arubanetworks.com</a>
サポートサイト	<a href="https://support.arubanetworks.com">https://support.arubanetworks.com</a>
Wireless Security Incident Response Team (WSIRT)	<a href="http://www.arubanetworks.com/support/wsirt.php">http://www.arubanetworks.com/support/wsirt.php</a>
EMEA 地区のサポート電子メール	<a href="mailto:emea.support@arubanetworks.com">emea.support@arubanetworks.com</a>
WSIRT Email 製品に関するセキュリティの問題の詳細を送信してください。	<a href="mailto:wsirt@arubanetworks.com">wsirt@arubanetworks.com</a>

### 表 2

電話サポート	
Aruba Corporate	+1 (408) 227-4500
FAX	+1 (408) 227-4550
サポート	
米国	800-WI-FI-LAN (800-943-4526)
国際フリーダイヤル (UIFN): オーストラリア、カナダ、中国、フランス、ドイツ、香港、アイルランド、イスラエル、日本、韓国、シンガポール、南アフリカ、台湾、および英国	+800-4WIFI-LAN (+800-49434-526)
その他の国	+1 (408) 754-1200

### Copyright

© 2011 Aruba Networks, Inc. AirWave®, Aruba Networks®, Aruba Mobility Management System®, Bluescanner, For Wireless That Works®, Mobile Edge Architecture, People Move. Networks Must Follow., RFProtect®, The All Wireless Workplace Is Now Open For Business、および The Mobile Edge Company® は、Aruba Networks, Inc. の商標です。All rights reserved. その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

### オープンソースコード

一部の Aruba 製品には、GNU General Public License (“GPL”), GNU Lesser General Public License (“LGPL”), およびその他のオープンソースライセンスの対象となるソフトウェアコードを含むサードパーティ製のオープンソースソフトウェアコードが含まれています。使用されているオープンソースコードは、以下のサイトで参照できます。

[http://www.arubanetworks.com/open\\_source](http://www.arubanetworks.com/open_source)

### 法的通知

個人または企業による Aruba Networks, Inc. スイッチングプラットフォームおよびソフトウェアの使用によって生じるその他のベンダの VPN クライアントデバイスが排除された場合、このアクションに対するその個人または企業の責任の完全な受諾を伴い、これらのベンダの代理として著作権の侵害に関して Aruba Networks, Inc. に対して適用される可能性のあるすべての合法的なアクションを補償するものとします。

### 保証

このハードウェア製品には Aruba Limited Lifetime 保証が付属しています。このデバイスを改造した場合 (色を塗った場合など) は保証の対象外となります。


<a href="http://www.arubanetworks.com">www.arubanetworks.com</a> 1344 Crossman Avenue Sunnyvale, California 94089 電話: 408.227.4500 Fax 408.227.4550
IAP-92 および IAP-93 ワイヤレスアクセスポイント   設置ガイド 部品番号 0510863-JA-04   2011 年 6 月